

## 第3回 宮川流域新五流総地域委員会 議事概要

宮川流域新五流総地域委員会事務局

日時：平成26年6月16日（月）14:00～16:00

場所：高山市役所3F 行政委員会室

### 1. 議事

- 規約の改正について
- 「宮川流域における総合的な治水対策プラン」の改定について
  - (1) 改定までの経緯について
  - (2) 県民意見募集の結果について
  - (3) プランの改定内容について
- 今後の進め方について

### 2. 議事要旨

- 規約の改正について
  - ・オブザーバーの交代に伴い規約の別表2を改正する。
- 「宮川流域における総合的な治水プラン」の改定について

議事(1)、(2)、(3)の項目の内容について事務局から説明があり、質疑、意見交換がなされた。各項目について交わされた質疑応答、意見の主な内容は以下の通りである。

  - (1) 改定までの経緯について
    - ・特になし
  - (2) 県民意見募集の結果について
    - ・特になし
  - (3) プランの改定内容について
    - ・平成21年集中豪雨は床上・床下浸水被害がなかったようであり、洪水被害の概要に挙げられている理由を補足説明していただきたい。  
→江名子川流域で市道が冠水し交通が一時中断したため、記載した。
    - ・宮川上流では水がたまりやすい所（霞堤、凹地など）もあることから、プランに記載された対策を是非進めていただきたい。
    - ・本川の改修とあわせて、流入する細い支川や合流部についても、時期を考えながら改修を進めていただきたい。
    - ・現場を十分視察して、堤防などの河川整備を実施し、水害を少なくしてもらいたい。
    - ・上流からの土砂が下流に掃流・堆積しているので、対策方法を検討してほしい。  
→定期的に横断測量等を実施することで、どのような対策をとるべきかを流下能力の確保の観点から検討していく予定である。

- ・古くからの石積み護岸の一部がはがれて流失しているので、水辺だけでなく、護岸なども整備していただきたい。
- ・洪水時において、河川を横切る橋梁桁のクリアランスや橋脚の強度などが課題となる。  
具体的に、連合橋（飛騨市古川町）などの橋梁の老朽化についてはどのような対策をとっているのか。  
→市が管理している橋梁であることから、県と市で連携しながら対策を検討していきたいと考えている。
- ・平成16年9月洪水と同規模の洪水を防ぐ改修を第一に進めていただき、そのあと環境整備をお願いしたい。
- ・高山市街の河川整備については、行政・地域住民が参画しながら、合意形成のもとで事業を進めていただきたい。
- ・大島ダムについては、流域連携会議が最近開催されていないことから、プラン改定を機に、一度ダムについても説明の機会を設けて欲しい。  
→大島ダムについては、毎年調査を実施し、データ収集を進めている。他ダムの検証作業とあわせ、順次、適切な時期にダム検証を実施していく予定である。

○今後の進め方について

今後の進め方について事務局から説明する。

- ・委員からの質疑や意見は特になし。